

富山県総合防災訓練に参加



大規模災害想定した実践的かつ広域的な災害応急活動等の防災訓練を実施し、防災計画等の円滑な運用、防災思想の普及啓発を図るため、平成24年9月30日(日)に富山県及び富山市を主催とする富山県総合防災訓練が3会場に分かれて開催。参加機関は富山河川国道事務所、国土地理院北陸地方測量部、立山砂防事務所、警察、消防、自衛隊、D-MAT、NPO、地域住民(自主防災組織含む)など総勢2,470名。

立山砂防事務所では、呉羽山断層帯を震源とするマグニチュード7.4の地震により、常願寺川水系和田川で大規模な河道閉塞が発生したことを想定し土砂災害防止法に基づき情報伝達訓練を実施。



■ 地震により発生した大規模土砂災害による河道閉塞対応訓練

- ◆ 予備調査及び緊急調査
- ◆ 対策本部の設置、状況・対策説明



「ほくりく号」による上空調査



三上事務所長より、石井富山県知事、富山市に対し天然ダム及び浸水被害想定状況、今後の対策について説明

石井富山県知事のコメント
「立山砂防事務所の技術力に期待している」



■ 土石流体験装置